

一般貸切旅客自動車運送事業法令試験問題

【注意事項】

1. 試験時間は、40分です。
2. 試験開始の合図があるまで、問題は開けないでください。
3. 問題用紙は、表紙を含めて5枚です。
4. 問題用紙は、持ち帰らないでください。
5. 不正な行為をされた場合は、直ちに受験を停止し、退場いただきます。
なお、試験は不合格になります。
6. 解答が終わり途中退室を希望される方は、挙手にて係員にお知らせください。
係員が試験問題等を回収した後、他の受験者の迷惑とならないよう静かに退出ください。

※携帯電話等の電源は他の受験者の迷惑となりますので、必ず電源をお切りください。

近畿運輸局

一般貸切旅客自動車運送事業の許可申請に係る法令知識について

- ・以下の各設問の()内に、関係法令を踏まえ、最も適切な語句を〔 〕から選択し、別紙の解答用紙に記入してください。

1. 一般旅客自動車運送事業者は、旅客に対し、収受した運賃又は料金の()をしてはならない。

[A. 割引 B. 払戻し C. 割戻し]

2. 一般旅客自動車運送事業者は、その名義を他人に()。

[A. 利用させてもよい B. 貸し渡してもよい C. 利用させてはならない]

3. 一般旅客自動車運送事業の譲渡及び譲受は、国土交通大臣の()を受けなければ、その効力を生じない。

[A. 許可 B. 認可 C. 承認]

4. 一般旅客自動車運送事業者は、()の変更をしようとするときは、国土交通大臣の認可を受けなければならない。

[A. 運行計画 B. 事業計画 C. 運行回数]

5. 旅客自動車運送事業者は、その事業用自動車が非常信号用具、非常口又は消化器を備えたものであるときは、当該自動車の()に対し、これらの器具の取扱いについて適切な指導をしなければならない。

[A. 一般公衆 B. 乗務員等 C. 旅客]

6. 旅客自動車運送事業者は、事業用自動車に係る事故が発生した場合には、乗務員等の氏名等の記録を当該事業用自動車の運行を管理する営業所において()保存しなければならない。

[A. 六ヶ月間 B. 一年間 C. 三年間]

7. 一般貸切旅客自動車運送事業は、点呼の内容を記録した電磁的記録(電子的方式、磁気的方式その他人の知覚によっては認識することができない方式で作られる記録であって、電子計算機による情報処理の用に供されるものをいう)を()保存しなければならない。

[A. 一年間 B. 二年間 C. 三年間]

旅客自動車運送事業者は、運行管理者を選任した場合は、当該届出事由の発生した日から（ ）以内に営業所の所在地を管轄する運輸監理部長又は運輸支局長に届け出なければならない。

8. ならない。

[A. 十日 B. 十五日 C. 三十日]

旅客自動車運送事業者は、事業用自動車の運行の業務を終了した運転者等に対して対面により、又は対面による点呼と同等の効果を有するものとして国土交通大臣が定める方法により点呼を行い、当該事業用自動車、道路及び（ ）について報告を求めなければならない。

9.

[A. 運賃収入 B. 運行の状況 C. 健康状態]

一般貸切旅客自動車運送事業者は、（ ）に運行指示書を作成しなければならない。

10.

[A. 運転者等ごと B. 車両ごと C. 運行ごと]

旅客自動車運送事業者は、事業用自動車の運行を中断したときは、当該自動車に乗車している（ ）適切な処置をしなければならない。

11.

[A. 事業者のために B. 旅客のために C. 乗務員等のために]

「運輸事業における安全管理の進め方に関するガイドライン」において、安全重点施策として「事業者は、安全方針に沿い、かつ、自らの安全に関する具体的な課題解決に向け、組織全体、各部門又は支社等において、輸送の安全の確保に関する（ ）を設定し、（ ）を達成するため、輸送の安全を確保するために必要な取組計画を作成する。」こととしている。

12.

[A. 計画 B. 取組 C. 目標]

一般旅客自動車運送事業を営もうとする者は、国土交通大臣の（ ）を受けなければならない。

13.

[A. 承認 B. 許可 C. 免許]

一般貸切旅客自動車運送事業に従事する自動車運転者の一日の拘束時間は十三時間を超えないものとし、当該拘束時間を延長する場合であっても、拘束時間の上限は（ ）とすること。

14.

[A. 十五時間 B. 十六時間 C. 十八時間]

旅客自動車運送事業者は、その事業用自動車の運転者に対し、主として運行する路線又は営業区域の状態及びこれに対処することができる運転技術並びに法令に定める（ ）に関する事項について適切な指導監督をしなければならない。

15.

[A. 自動車の運転 B. 事業計画 C. 運行管理]

- 一般貸切旅客自動車運送事業について、36協定で定める労働者の時間外労働の限度時間は、1か月45時間及び1年360時間となっており、臨時的にこれを超えて労働させる必要がある場合であっても、自動車運転の業務については、1年()以内としなければならない。
16. [A. 720時間 B. 840時間 C. 960時間]
-

- 一般旅客自動車運送事業の管理の委託及び受託については、国土交通大臣の()を受けなければならない。
17. [A. 免許 B. 許可 C. 認可]
-

- 旅客自動車運送事業の事業用自動車の運転者の要件は、()以上(受験資格の特例教習の修了者を除く)であり、第二種免許を取得し、その効力が停止されていないこと。
18. [A. 十八歳 B. 二十一歳 C. 二十四歳]
-

- 一般旅客自動車運送事業の許可を受けようとする者は()の懲役又は禁固の刑に処せられ、その執行を終わり、又は執行を受けることがなくなった日から5年を経過していなければならない。
19. [A. 6ヶ月以上 B. 1年以上 C. 2年以上]
-

- 旅客自動車運送事業者の事業用自動車の運転者は、乗務しようとするとき及び乗務を終了したときは、当該旅客自動車運送事業者が行う()を受け、報告をしなければならない。
20. [A. 点呼 B. 確認 C. 面談]
-

- 大型自動車使用者等は、整備管理者を選任したときは、その日から()以内に、地方運輸局長にその旨を届け出なければならない。
21. [A. 十日 B. 十五日 C. 三十日]
-

- 旅客自動車運送事業者は、その運行管理者に対し、旅客自動車運送事業運輸規則第48条各号に掲げる()及び運行管理規程の遵守について適切な指導監督をしなければならない。
22. [A. 業務の適確な実行 B. 点呼の実施 C. 乗務員等の研修]
-

23. 旅客自動車運送事業者は、旅客又は公衆に対して、()かつ懇切な取扱いをしなければならない。

[A. 公平 B. 親切 C. 丁寧]

24. 旅客自動車運送事業運輸規則は、旅客自動車運送事業の適正な運営を確保することにより、輸送の安全及び()を図ることを目的とする。

[A. 事業者の利便 B. 従業員の利便 C. 旅客の利便]

25. 一般貸切旅客自動車運送事業の許可は、()ごとにその更新を受けなければ、その期間の経過によつて、その効力を失う。

[A. 三年 B. 五年 C. 七年]

26. 旅客自動車運送事業者は、()以内の期間を定めて使用される者を事業用自動車の運転者等として選任してはならない。

[A. 二月 B. 六月 C. 一年]

27. 「旅客自動車運送事業」とは、()に応じ、有償で、自動車を使用して旅客を運送する事業をいう。

[A. 自己の目的 B. 自治体等の要請 C. 他人の需要]

・以下の文章のうち正しいものには○印を、誤っているものには×印を別紙の解答用紙に記入してください。

28. 道路運送法の目的には、公共の福祉を増進することが謳われている。

29. 旅客自動車運送事業者は、事業用自動車内に乗務員の氏名を表示する必要はない。

30. 一般貸切旅客自動車運送事業者は、認可を受けた運賃の範囲内で運賃を定め、あらかじめその旨を届け出なければならない。

一般貸切旅客自動車運送事業の法令試験の解答用紙

申請者名

受験者名

採 点

点

(問題1～27は【A・B・C】のいずれかを記入してください。)

問題 1	問題 2	問題 3	問題 4	問題 5	問題 6	問題 7	問題 8	問題 9
C	C	B	B	B	C	C	B	B

問題 10	問題 11	問題 12	問題 13	問題 14	問題 15	問題 16	問題 17	問題 18
C	B	C	B	A	A	C	B	B

問題 19	問題 20	問題 21	問題 22	問題 23	問題 24	問題 25	問題 26	問題 27
B	A	B	A	A	C	B	A	C

(問題28～30は【O・×】のいずれかを記入してください。)

問題 28	問題 29	問題 30
O	O	×